堅下南小学校

# 校長室だより

R7．9．4　No．8

## 始業式

　体育館に児童の姿が戻ってきました。まずはそれだけでとてもうれしく思います。児童の中には、もう夏休みも終わりか、嫌やなあ、と思っている人もいたかもしれませんが、児童のみなさんの顔を見ると、ほっとして、うれしくなりました。

　始業式では、児童の皆さんに、学校に来たら終わりではなくて、自分自身を鍛えて、成長する２学期にしてほしい、という話をしました。児童にとっては、体育大会もあるので、体を鍛えることはイメージしやすいかもしれません。それだけでなく、おしゃべりしたいな、怠けたいな、という気持ちがあっても、自分のためにならないとか、周りの迷惑になるからやめとこう、静かに授業を受けよう、というのも心を鍛えることになりますし、勉強が難しい時、すぐにあきらめるのではなく、もう少し自分で考えよう、とか先生や友達に聞いてみよう、とすることも頭を鍛えることになります。以前、「自分の機嫌は自分でとろう」という話をしています。イライラしたりうまくいかなかったりするときに、人や物に当たるのではなく、自分で解決する、それも自分を鍛えることにつながると思います。そうやって、少しずつ自分を鍛えようとすることで、成長する姿を見ていきたいと思っています。

　９月から、児童が使うタブレット端末が新しいものになります。性能も良くなり、子どもたちはとても楽しみにしているようです。堅下南小学校では、子どもたちが主体的に情報を選択、活用するとともに、ＩＣＴ活用能力を用い、自ら情報を発信していく能力を育成することをねらいとして、情報教育に取り組んでいます。授業での話をよく聞いて、新しくなったタブレットを使ってほしいと思います。家に持って帰ることもあります。その時は、担任から指示がありますので、ご家庭でも、学校から伝えられているルールをよく守り、指示されたこと以外はしないようにご協力をお願いいたします。また、タブレットはあくまで市から貸し出されているものなので、その気持ちで、丁寧に扱うようお声かけください。

　また、それに伴い、市のガイドラインも改訂されます。堅下南小学校として、情報機器の使い方について改めて見直し、市のガイドラインを順守いたします。

・情報機器は、教育委員会が配備したもの及び学校園長が許可したもの（原則として、私用のスマートフォンや携帯電話等は除く）のみとする。
・データは教育委員会が用意したサーバーに保存して、外部へ持ち出さない。

　情報の管理が取り沙汰される昨今、本校教職員が児童や保護者のみなさまに安心してもらえるよう、今後もさらに取り組んでまいります。

　技術吏員さんが９月から、柳川さんに代わって、中井　孝治　さんになりました。よろしくお願いいたします。